

HRガイド

AI人材の育て方・鍛え方

～データ分析のセンスと活用スキルを備えた人材を全部署へ～

株式会社 ROX 代表取締役 中川 達生

■ AI を活用していく人材は育っているか？

AI（人工知能）を巡っては、人材採用時のスクリーニングや面接機能の代行などに取り入れる動きが報じられ、人事部門でもにわかに注目度を高めている。しかし、目先の人事業務から少し視野を拡大し、自社のビジネスを俯瞰してみれば、もはやあらゆる部署に活用の余地があると気づくだろう。そして、間違わず、疲弊せず、精度高く、短期間にベテラン社員並みの判断処理をこなし、経験蓄積量が増えるほどさらに自ら学習して判断精度を高めていく仕組みを内包する特徴を鑑みれば、使い方次第で、飛躍的に全社の業績を伸ばす可能性があると理解できるだろう。あるいは、もう可能性を論じる段階は過ぎたというのなら、では「誰が、どうやって」という課題が浮上する。このとき、情報担当部署の専門家が各部署の依頼に応じてシステムを組んで……というスタンスはどうやら時代遅れのようだ。あらゆる部署の各業務に精通した当事者が、現場でAIを活用していく姿が展望されている。そんな人材をどうやって育てて、配置するのか？ まさしく人事の戦略課題にほかならない。

(編集部)

CONTENTS

1. これからの社会は
“人工知能ありきの世界” に向かう
 - (1)人工知能の普及と必要とされる人材像
 - (2)人工知能の歴史～冬の時代と機械学習の出現～
 - (3)家電などに人工知能が搭載され始めている
2. 人工知能の仕組みとポイント
 - (1)人工知能が来店者数を予測する
 - (2)人工知能による来店者数予測の仕組み
 - (3)ビジネスで活用する能力が問われる
 - (4)AI人材を研修で育てる
3. “人工知能ありきのビジネス” に
対応できる人材を育成する
 - (1)統計学の知識・スキル
 - (2)少しのプログラミングのスキル
 - (3)ビジネスの経験・理解
4. 人工知能を担当する部署はどこか
5. これから必要な人材とスキルとは
 - (1)エンジンの開発より運転のスキルを
 - (2)運転できる人材を育てる

■ 中川 達生（なかがわ たつお）：

1980年生まれ。奈良県出身、神戸大学工学部卒業後、三菱重工業(株)での開発設計職、三井物産(株)での海外営業職を経て独立。2015年10月、(株)ROX (旧社名 テクニコル) 創業、代表取締役に就任。2016年9月 公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学創造技術専攻・主席修了。その後、同大学院 認定登録講師（専門分野 データ解析）。データ解析技術を軸に人工知能開発から人工知能人材の育成研修まで、幅広く提供。特に人工知能開発では異能ベリション ジェネレーションアワード受賞など受賞多数。研修事業では研修・セミナーの実績多数で、延べ受講者数は500名以上。特に初心者向けに分かりやすい講義として好評を博している。



■ 株式会社ROX：

「人生をおもしろくする 世の中をおもしろくする」を理念に、データ解析技術を用いて事業展開。データ解析、人工知能開発の受託開発、研修事業に加えて、メンタルヘルスサービスを開発中。

●住所：〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通34 THE BAYS 2階

●URL：https://www.rox-jp.com ●E-mail：info@rox-jp.com